

令和4年度 第2次募集の選抜・評価方法

学校番号 72

千葉県立印旛明誠高等学校 全日制の課程 普通科

1 選抜資料

(1)調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2)面接	評価者3名の個人面接 検査時間：10分程度
(3)作文	字数：400字以上600字以内（日本語による） 検査時間：50分

2 評価項目及び評価基準

(1)調査書〔135点満点〕 アの数値を調査書の得点とする。

ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3か年の欠席の合計が30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	〇が1つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	学級活動、生徒会活動、部活動、資格の取得等で特に積極的に取り組んだと認められる記述については、総合的に判定する際の参考とする。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(2)面接〔30点満点〕

3名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。aを5点、bを3点、cを1点とし、3名の評価者の評価（各10点満点）を合計し、得点化する。評価cが3つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 意欲・目的意識及び志望動機	高校生活に対して、強い意欲と明確な目的意識を持っている。 志望の動機が明確であり、本校に対する正しい知識を持っている。
イ 受検態度及び人物等	身だしなみ、態度、受け答えが適切である。これまでの自分の活動とその成果を具体的に説明できている。

### (3) 作文〔30点満点〕

3名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。aを5点、bを3点、cを1点とし、3名の評価者の評価（各15点満点）を合計し、得点化する。評価cが3つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 内容	与えられたテーマにしたがって、自己の考えを述べている。
イ 言葉・表現	正しい日本語を用いて、適切な表現をしている。

## 3 選抜方法

### (1) 選抜の方法

「調査書の得点」、「面接の得点」、「作文の得点」をすべて合計した「総得点」により順位をつけ、選抜資料を慎重に審議しながら第2次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

調査書の得点	面接の得点	作文の得点	総得点
135点	30点	30点	195点

### (2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取り扱いはしない。

イ 入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。